

国際デジタル地球年 - 国内外における活動と計画の紹介 -

eGY activities - Current status and future plan

家森 俊彦 [1]

Toshihiko Iyemori[1]

[1] 京大・理・地磁気

[1] WDC for Geomag., Kyoto Univ.

<http://swdcft49.kugi.kyoto-u.ac.jp/egy/>

2007年から始まった国際デジタル地球年(eGY)は、地球科学分野のデータに関する諸問題、すなわち、データの利用、保存、発掘、人材育成と啓蒙活動に最先端の情報科学技術を活用することを目的としている。eGYは、過去、現在、未来の地球科学データを迅速かつ便利で自由に使えるようにするべくICSU(国際学術会議)をはじめ、多くの国際学術機関に認知された活動で、国際的活動の推進と調整を行うための枠組みとなる。特に、データの所在と利用情報、データの公開、過去のアナログデータのデジタル化と保存、発展途上国での人材育成、社会への成果還元、ネットワークを活用したデータ交換に重点をおいて活動を行うことを期待されている。2005年の秋に国内委員会が立ち上げられ、本年1月には、日本学術会議に地球惑星科学委員会国際対応分科会「eGY小委員会」が設置された。この講演では、eGY計画の経緯と、活動の現状、および今後の計画について紹介する。